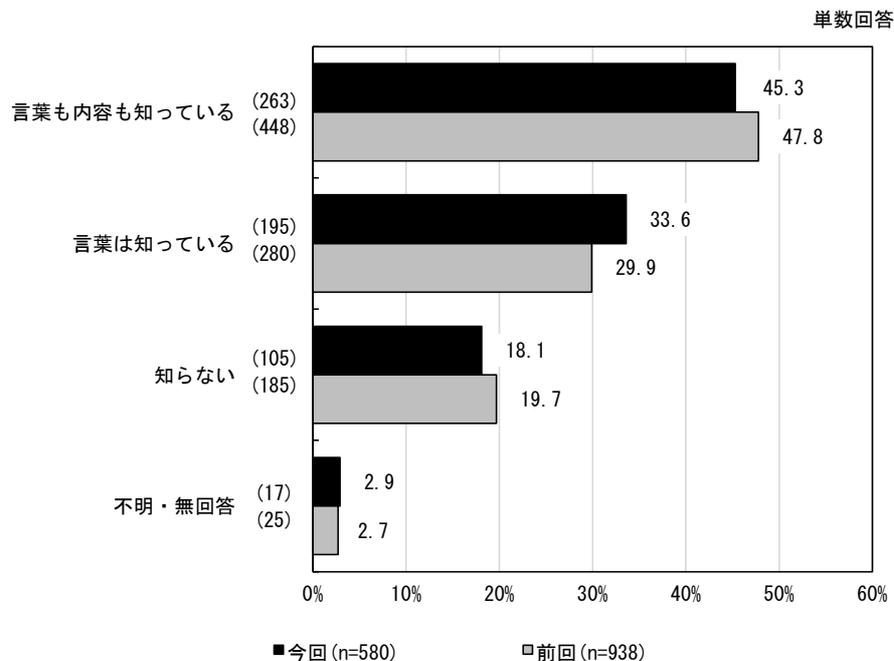


6. 同和問題(部落差別)について

問18 あなたは、同和問題(部落差別)について知っていますか。次の中から1つお選びください。

「言葉も内容も知っている」が45.3%と、「言葉は知っている」の33.6%及び、「知らない」の18.1%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、30～39歳では「言葉は知っている」、それ以外の年代では「言葉も内容も知っている」が最も高くなっている。

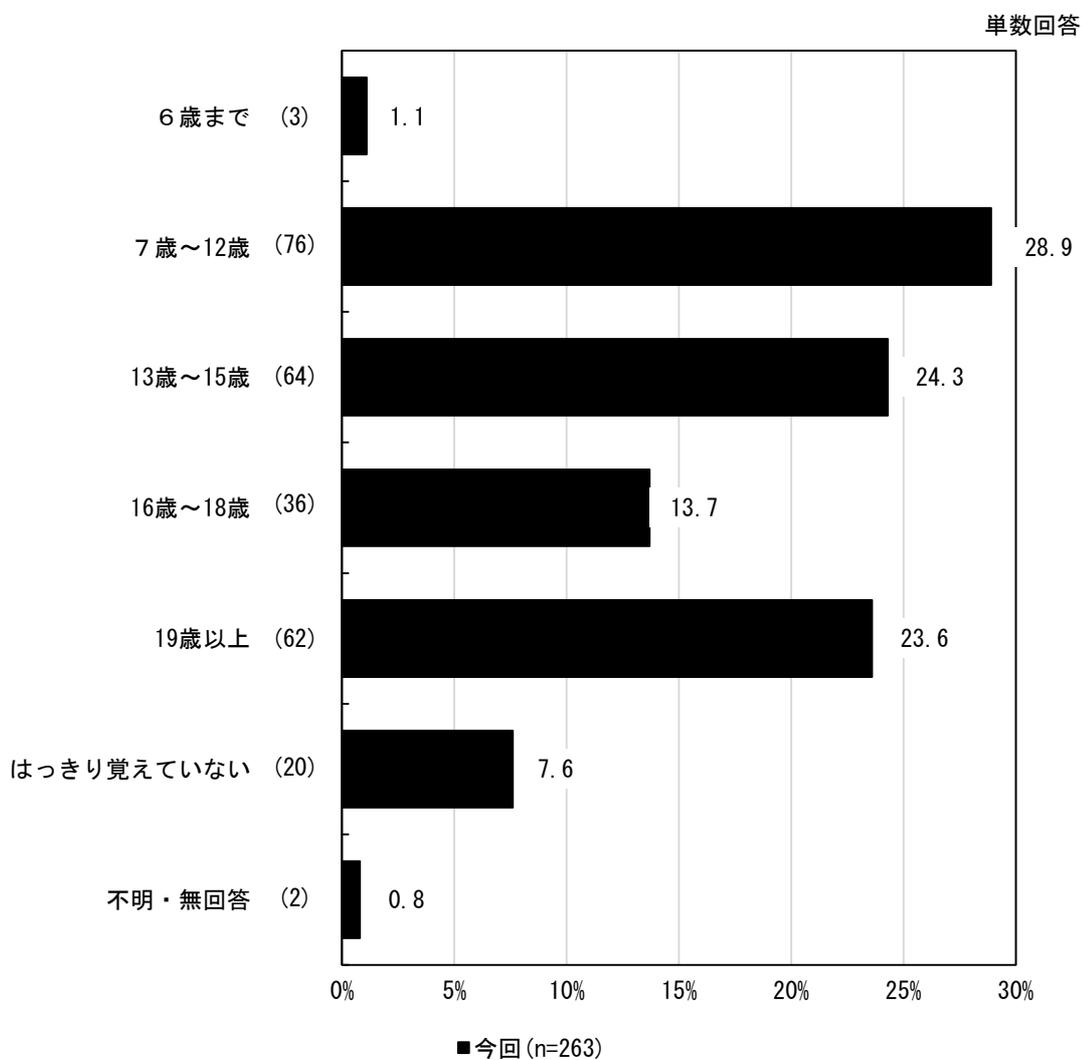
また、18～29歳では「知らない」が3割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
言葉も内容も知っている	36.0%	34.3%	46.8%	48.7%	54.9%	42.4%
言葉は知っている	30.0%	37.3%	29.7%	33.3%	30.4%	39.4%
知らない	32.0%	26.9%	21.6%	16.2%	10.8%	12.9%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	1.7%	3.9%	5.3%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問19 あなたが同和問題(部落差別)について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

「7歳～12歳」が28.9%と最も高く、次いで「13歳～15歳」が24.3%、「19歳以上」が23.6%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳及び70歳以上では「19歳以上」、30～59歳では「7歳～12歳」、60～69歳では「7歳～12歳」及び「19歳以上」が最も高くなっている。

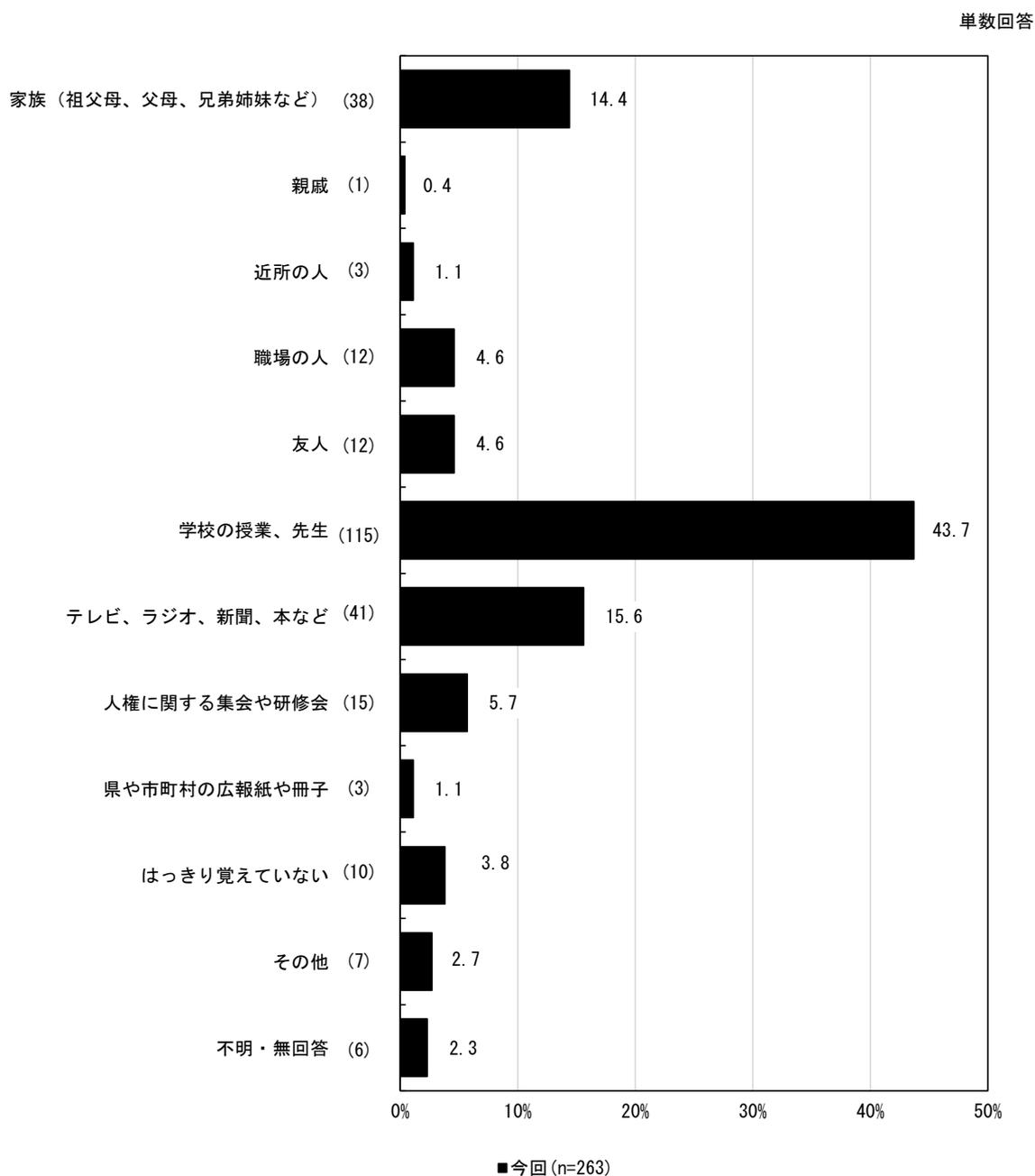
また、30～39歳では「13歳～15歳」が3割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
6歳まで	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.6%	0.0%
7歳～12歳	16.7%	34.8%	42.3%	40.4%	25.0%	10.7%
13歳～15歳	22.2%	30.4%	25.0%	21.1%	23.2%	26.8%
16歳～18歳	16.7%	13.0%	5.8%	10.5%	19.6%	17.9%
19歳以上	33.3%	17.4%	17.3%	17.5%	25.0%	32.1%
はっきり覚えていない	11.1%	4.3%	7.7%	8.8%	3.6%	10.7%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問20 あなたが同和問題(部落差別)について初めて知ったのは、誰(なに)からですか。次の中から1つお選びください。

「学校の授業、先生」が43.7%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が15.6%、「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）」が14.4%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～69歳では「学校の授業、先生」、70歳以上では「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が最も高くなっている。

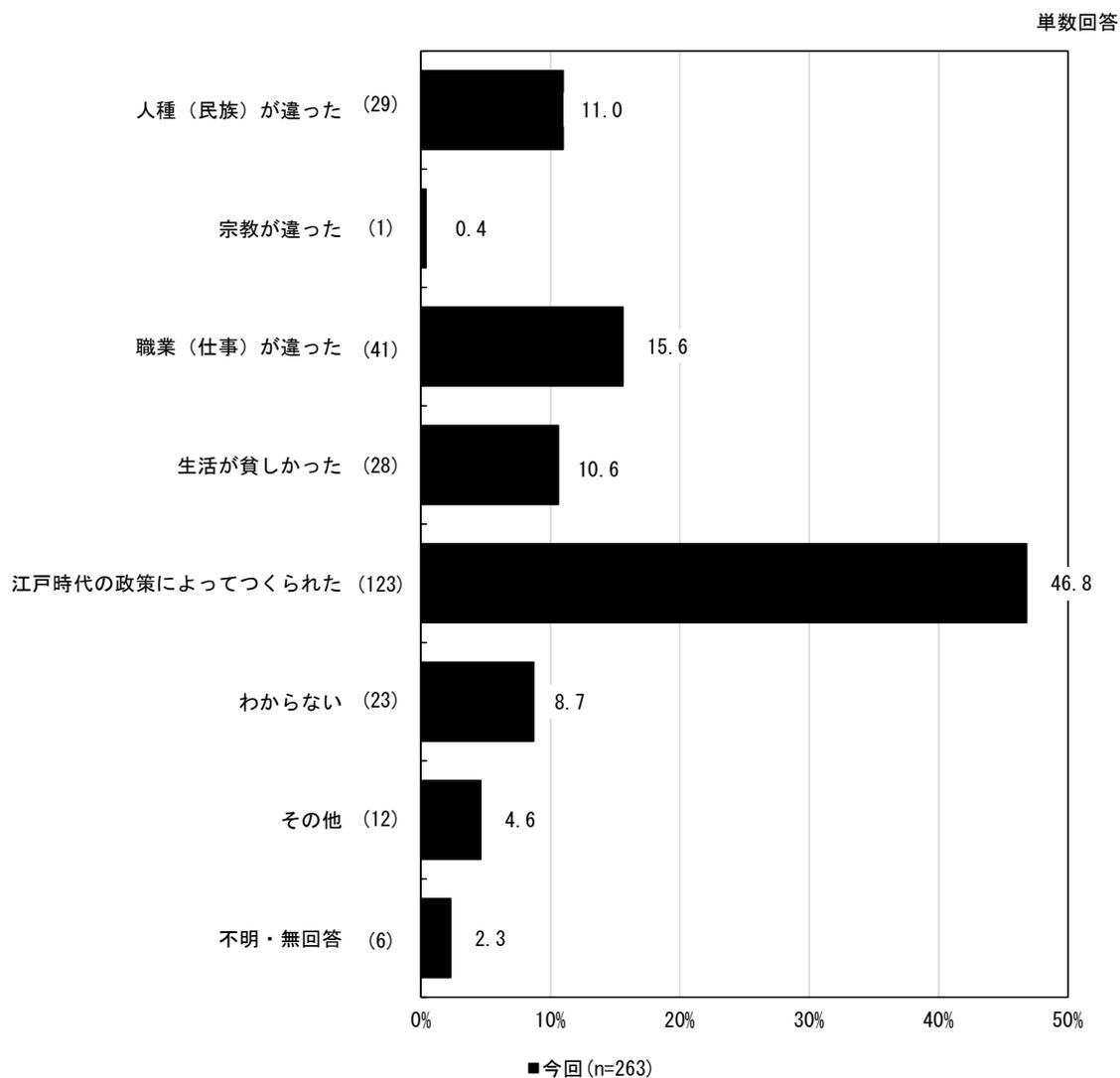
また、70歳以上では「学校の授業、先生」が1割未満と、他の年代と比べて低くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）	11.1%	8.7%	19.2%	12.3%	8.9%	21.4%
親戚	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
近所の人	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%
職場の人	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	10.7%	8.9%
友人	0.0%	4.3%	0.0%	3.5%	10.7%	5.4%
学校の授業、先生	33.3%	73.9%	63.5%	56.1%	39.3%	8.9%
テレビ、ラジオ、新聞、本など	27.8%	4.3%	3.8%	10.5%	14.3%	33.9%
人権に関する集会や研修会	5.6%	4.3%	7.7%	3.5%	3.6%	8.9%
県や市町村の広報紙や冊子	0.0%	4.3%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%
はっきり覚えていない	11.1%	0.0%	3.8%	3.5%	5.4%	1.8%
その他	11.1%	0.0%	1.9%	0.0%	7.1%	0.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	5.4%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 21 あなたは同和問題(部落差別)の起源について、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

「江戸時代の政策によってつくられた」が46.8%と最も高く、次いで「職業(仕事)が違った」が15.6%、「人種(民族)が違った」が11.0%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳では「職業（仕事）が違った」、30歳以上では「江戸時代の政策によってつくられた」が最も高くなっている。

また、18～29歳では「人種（民族）が違った」が2割台と、他の年代と比べて高くなっている。

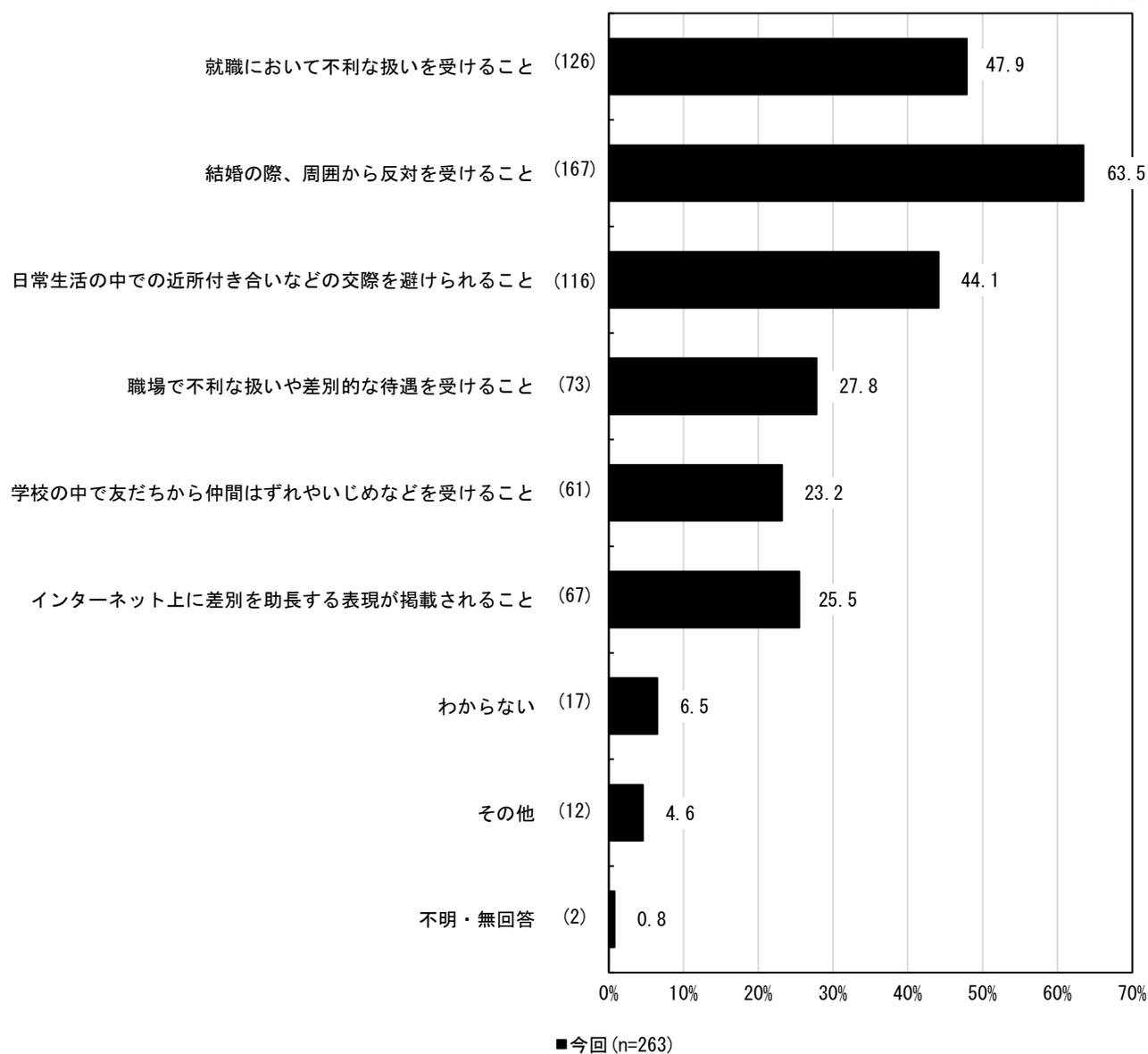
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
人種（民族）が違った	22.2%	17.4%	7.7%	3.5%	16.1%	10.7%
宗教が違った	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
職業（仕事）が違った	33.3%	17.4%	13.5%	7.0%	12.5%	23.2%
生活が貧しかった	16.7%	8.7%	15.4%	15.8%	7.1%	3.6%
江戸時代の政策によってつくられた	22.2%	47.8%	50.0%	54.4%	48.2%	41.1%
わからない	0.0%	4.3%	7.7%	7.0%	10.7%	14.3%
その他	5.6%	4.3%	5.8%	7.0%	3.6%	1.8%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	1.8%	3.6%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問22 同和問題(部落差別)に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が63.5%と最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が47.9%、「日常生活の中で近所付き合いなどの交際を避けられること」が44.1%と続いている。

複数回答



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「就職において不利な扱いを受けること」及び「結婚の際、周囲から反対を受けること」、30～39 歳では「結婚の際、周囲から反対を受けること」及び「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」、40 歳以上では「結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も高くなっている。

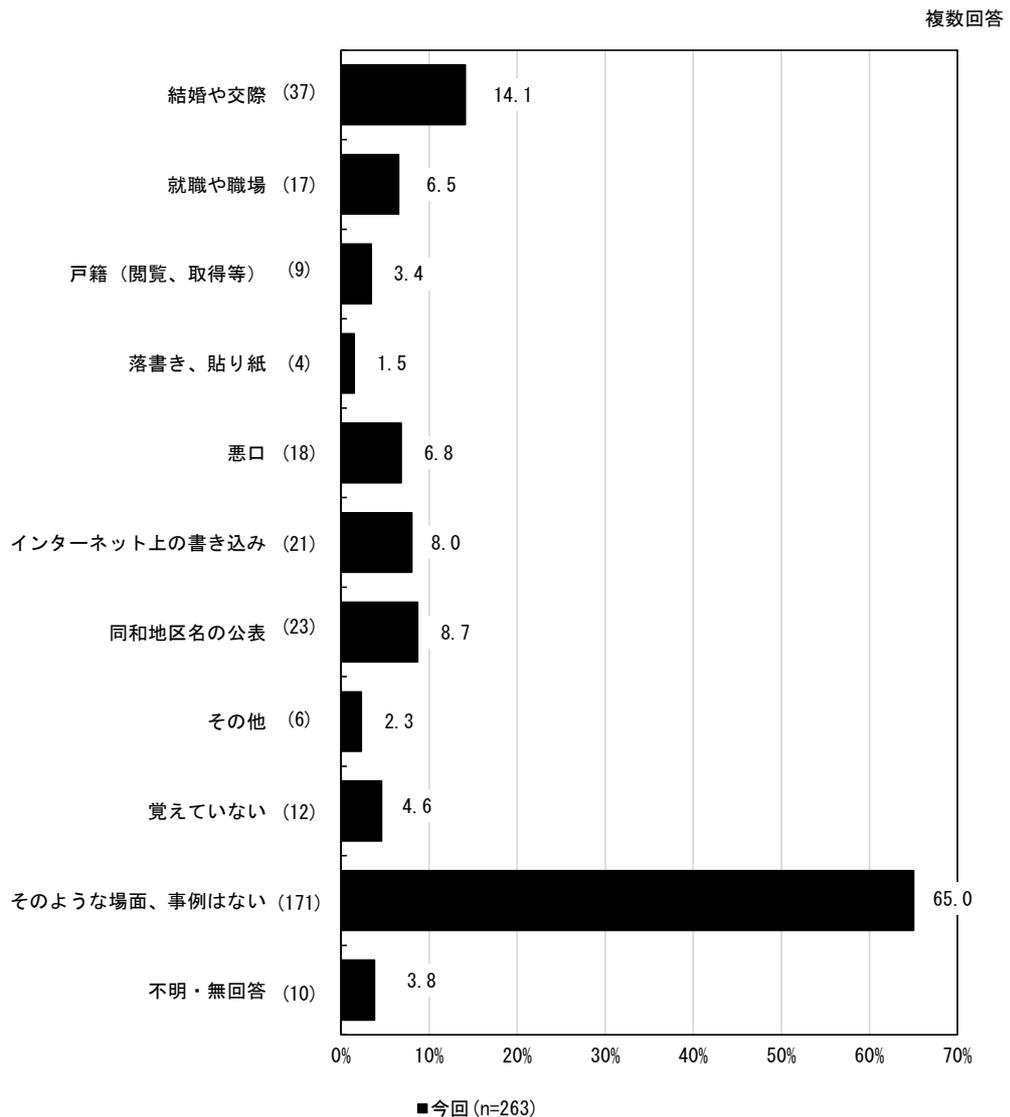
また、30～39 歳では「学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること」が 1 割未満と、他の年代と比べて低くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
就職において不利な扱いを受けること	55.6%	43.5%	40.4%	47.4%	44.6%	57.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	55.6%	56.5%	67.3%	61.4%	62.5%	67.9%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	50.0%	56.5%	42.3%	36.8%	37.5%	51.8%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	27.8%	30.4%	28.8%	24.6%	30.4%	26.8%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	22.2%	4.3%	26.9%	26.3%	25.0%	23.2%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	33.3%	30.4%	19.2%	22.8%	28.6%	26.8%
わからない	0.0%	8.7%	7.7%	5.3%	8.9%	5.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	7.1%	3.6%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 23 あなたは、過去に実社会やインターネット上で、部落差別による被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしたことがありますか。あるいは、あなたの親族・知人が、過去に同様の被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしているのを見聞きしたことがありますか。あるとしたら、どのような場面、事例でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「そのような場面、事例はない」が65.0%と最も高く、次いで「結婚や交際」が14.1%、「同和地区名の公表」が8.7%と続いている。



【年齢別】

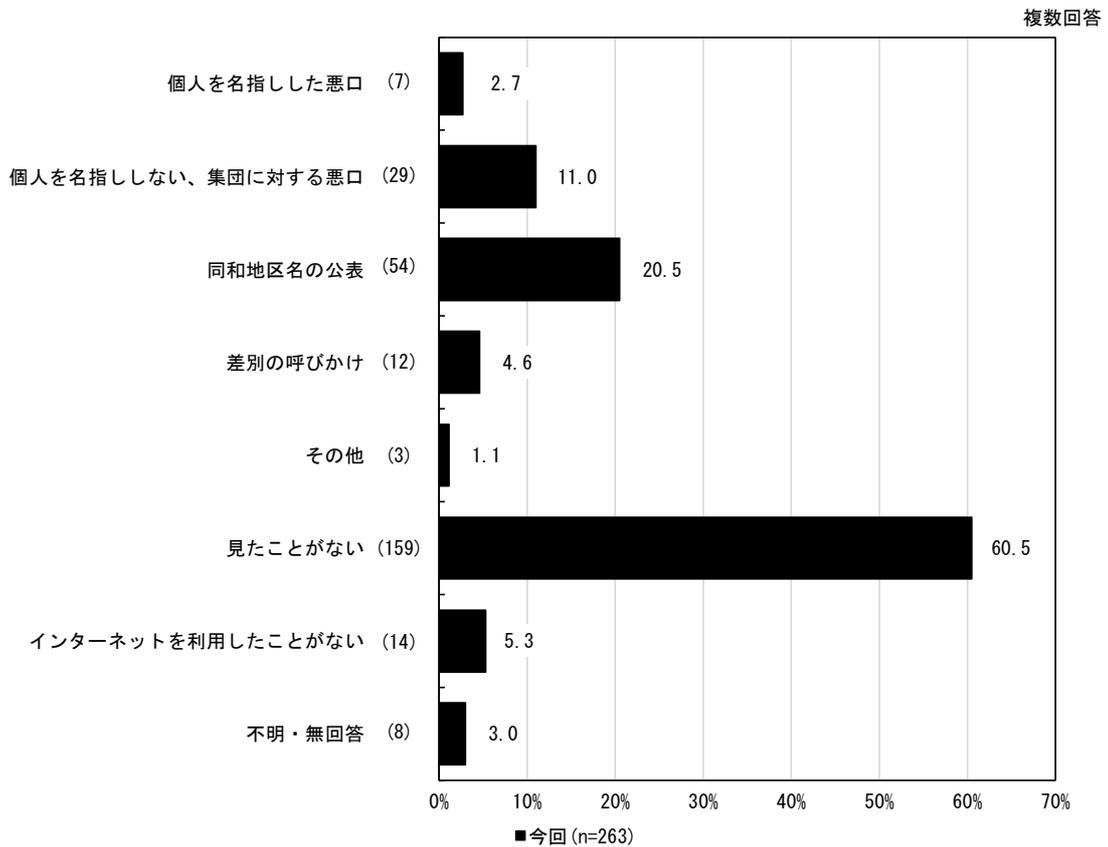
年齢別で見ると、すべての年代で「そのような場面、事例はない」が最も高くなっている。
また、70歳以上では「結婚や交際」が2割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
結婚や交際	5.6%	4.3%	11.5%	12.3%	14.3%	23.2%
就職や職場	5.6%	0.0%	3.8%	1.8%	10.7%	12.5%
戸籍（閲覧、取得等）	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	5.4%	5.4%
落書き、貼り紙	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
悪口	5.6%	0.0%	3.8%	5.3%	8.9%	10.7%
インターネット上の書き込み	11.1%	8.7%	7.7%	3.5%	10.7%	8.9%
同和地区名の公表	0.0%	4.3%	3.8%	7.0%	7.1%	19.6%
その他	0.0%	4.3%	3.8%	0.0%	3.6%	1.8%
覚えていない	11.1%	4.3%	3.8%	1.8%	5.4%	5.4%
そのような場面、事例はない	66.7%	73.9%	71.2%	80.7%	57.1%	48.2%
不明・無回答	0.0%	0.0%	5.8%	1.8%	1.8%	8.9%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 24 同和問題(部落差別)に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。
あるとしたら、どのような内容のものでしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「見たことがない」が60.5%と最も高く、次いで「同和地区名の公表」が20.5%、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が11.0%と続いている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「見たことがない」が最も高くなっている。

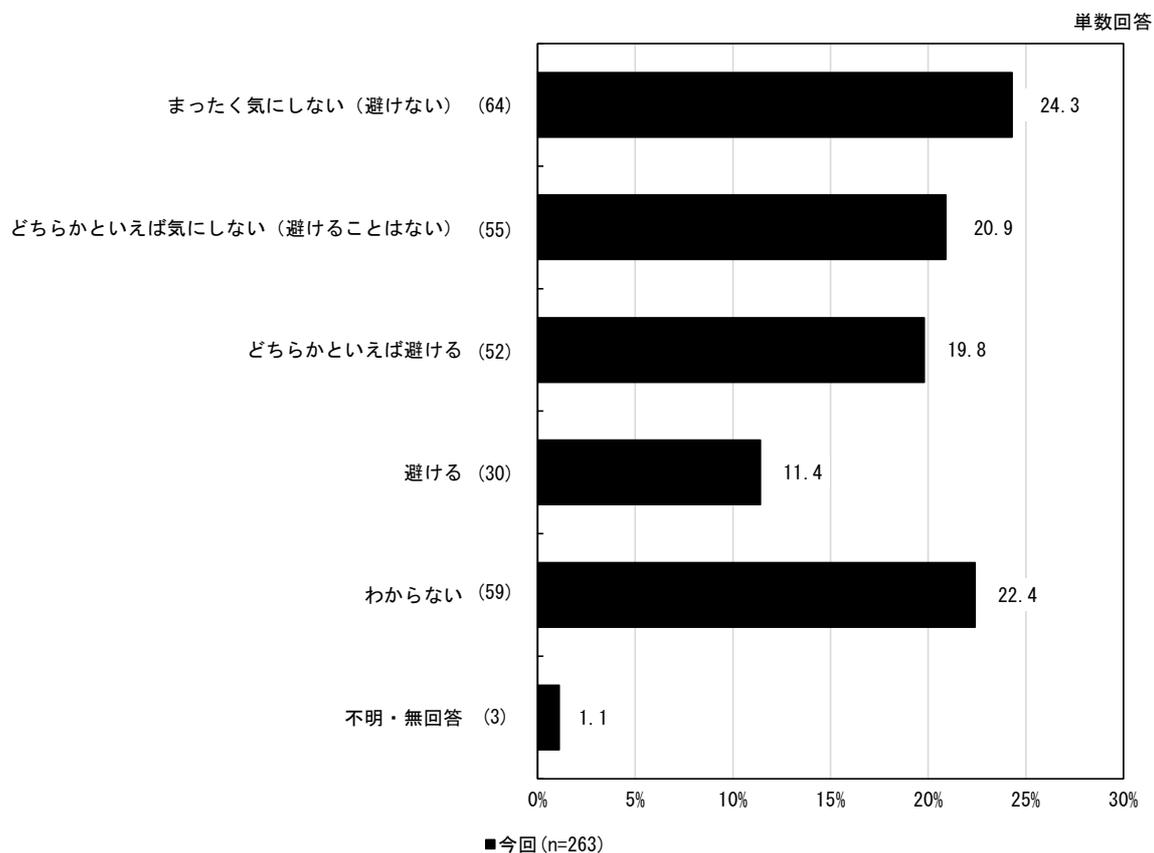
また、70歳以上では「インターネットを利用したことがない」が1割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
個人を名指しした悪口	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	0.0%	7.1%
個人を名指ししない、 集団に対する悪口	22.2%	8.7%	11.5%	10.5%	12.5%	7.1%
同和地区名の公表	27.8%	30.4%	13.5%	22.8%	21.4%	17.9%
差別の呼びかけ	11.1%	4.3%	7.7%	0.0%	7.1%	1.8%
その他	0.0%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	1.8%
見たことがない	38.9%	56.5%	69.2%	64.9%	64.3%	53.6%
インターネットを利用 したことがない	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	7.1%	14.3%
不明・無回答	5.6%	0.0%	3.8%	1.8%	0.0%	7.1%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 25 あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。

「まったく気にしない（避けない）」が24.3%と最も高く、次いで「わからない」が22.4%、「どちらかといえば気にしない（避けることはない）」が20.9%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

18～29歳及び60～69歳では「まったく気にしない（避けない）」、30～39歳では「どちらかといえば避ける」、40～49歳では「まったく気にしない（避けない）」及び「わからない」、50～59歳では「わからない」、70歳以上では「まったく気にしない（避けない）」及び「どちらかといえば気にしない（避けることはない）」が最も高くなっている。

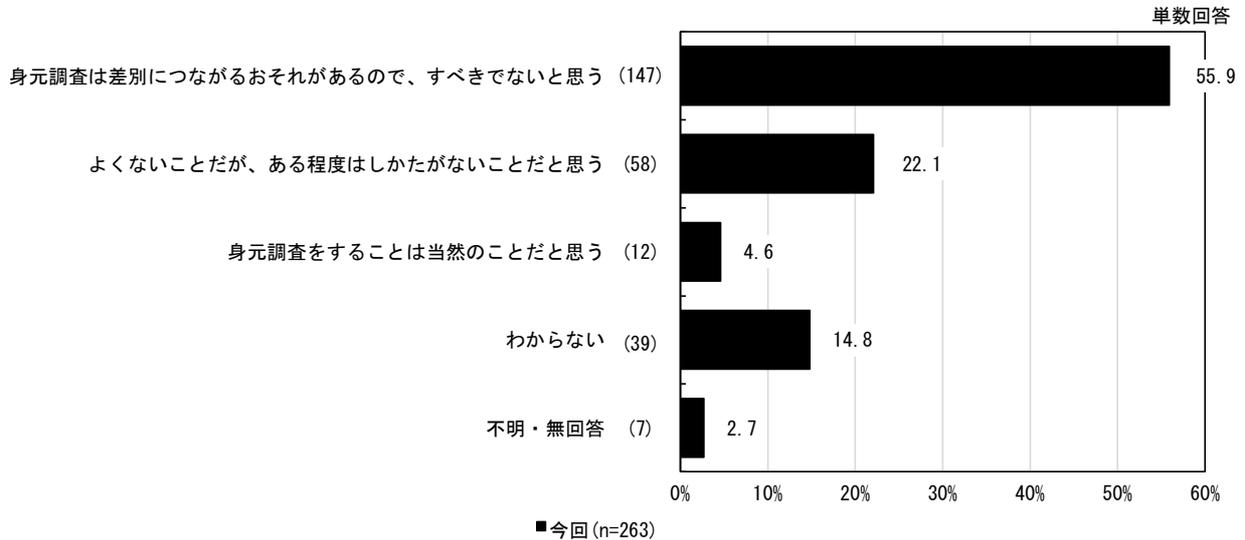
また、18～29歳では「まったく気にしない（避けない）」が3割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
まったく気にしない（避けない）	38.9%	21.7%	23.1%	14.0%	26.8%	28.6%
どちらかといえば気にしない（避けることはない）	16.7%	17.4%	17.3%	21.1%	19.6%	28.6%
どちらかといえば避ける	27.8%	26.1%	13.5%	19.3%	21.4%	19.6%
避ける	11.1%	13.0%	19.2%	10.5%	10.7%	5.4%
わからない	5.6%	21.7%	23.1%	35.1%	21.4%	16.1%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	1.8%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問26 あなたは、結婚や就職の際に同和地区出身者であるか身元調査をすることについて、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではないと思う」が55.9%と最も高く、次いで「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が22.1%、「わからない」が14.8%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が最も高くなっている。

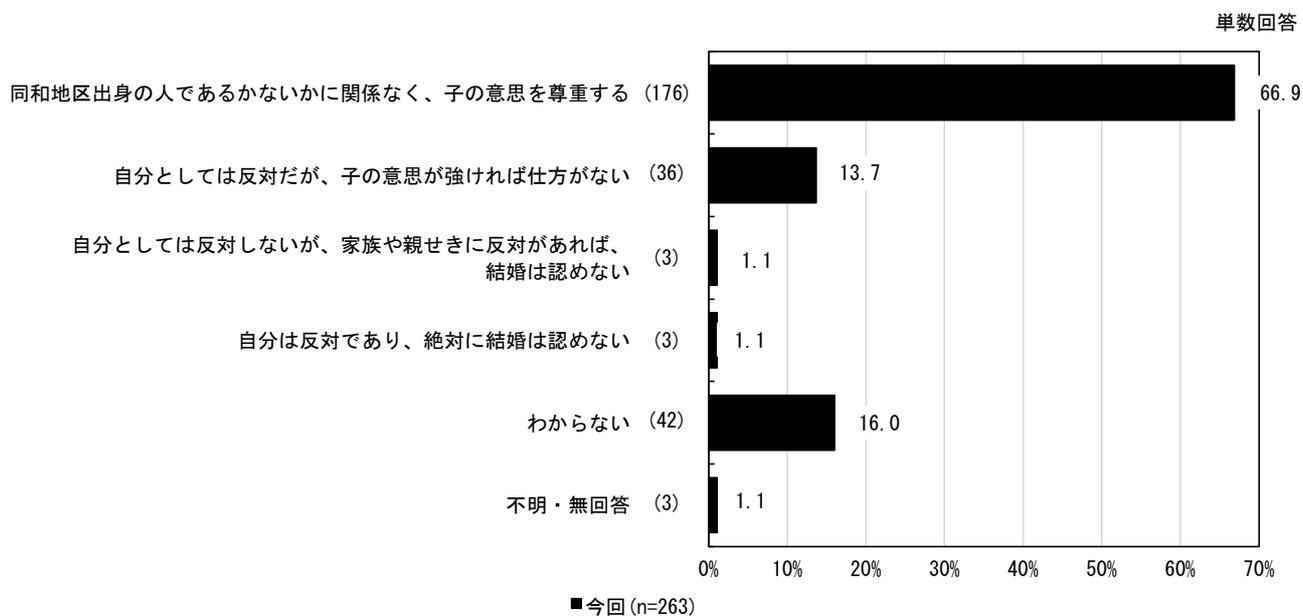
また、18～29歳では「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が3割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	55.6%	60.9%	65.4%	45.6%	55.4%	55.4%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	33.3%	26.1%	13.5%	24.6%	28.6%	16.1%
身元調査をすることは当然のことだと思う	11.1%	0.0%	3.8%	5.3%	0.0%	8.9%
わからない	0.0%	13.0%	13.5%	22.8%	16.1%	12.5%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	1.8%	0.0%	7.1%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問27 あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。

「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が66.9%と最も高く、次いで「わからない」が16.0%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が13.7%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。

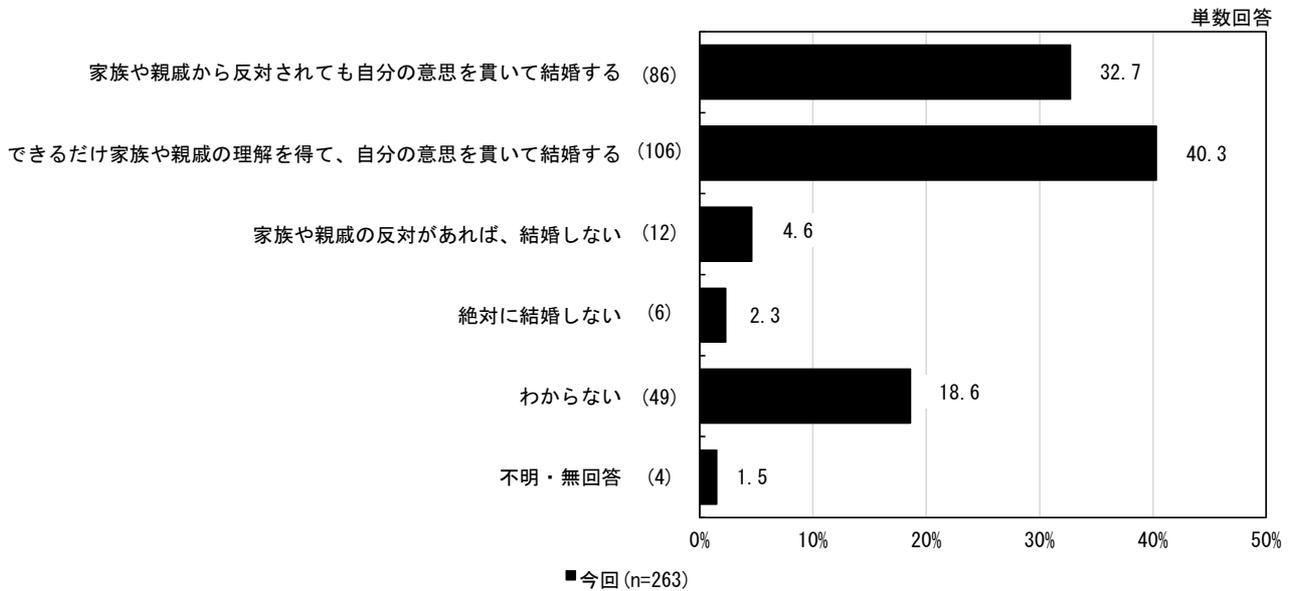
また、60～69 歳以外の年代では「自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない」の回答が0件となっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	72.2%	82.6%	71.2%	61.4%	58.9%	67.9%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	5.6%	8.7%	11.5%	17.5%	14.3%	16.1%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	0.0%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	1.8%
わからない	22.2%	8.7%	13.5%	19.3%	21.4%	10.7%
不明・無回答	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	3.6%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問28 あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどうかされますか。次の中から1つお選びください。

「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が40.3%と最も高く、次いで「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が32.7%、「わからない」が18.6%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高くなっている。

特に、30～39歳では5割台と、他の年代と比べて高くなっている。

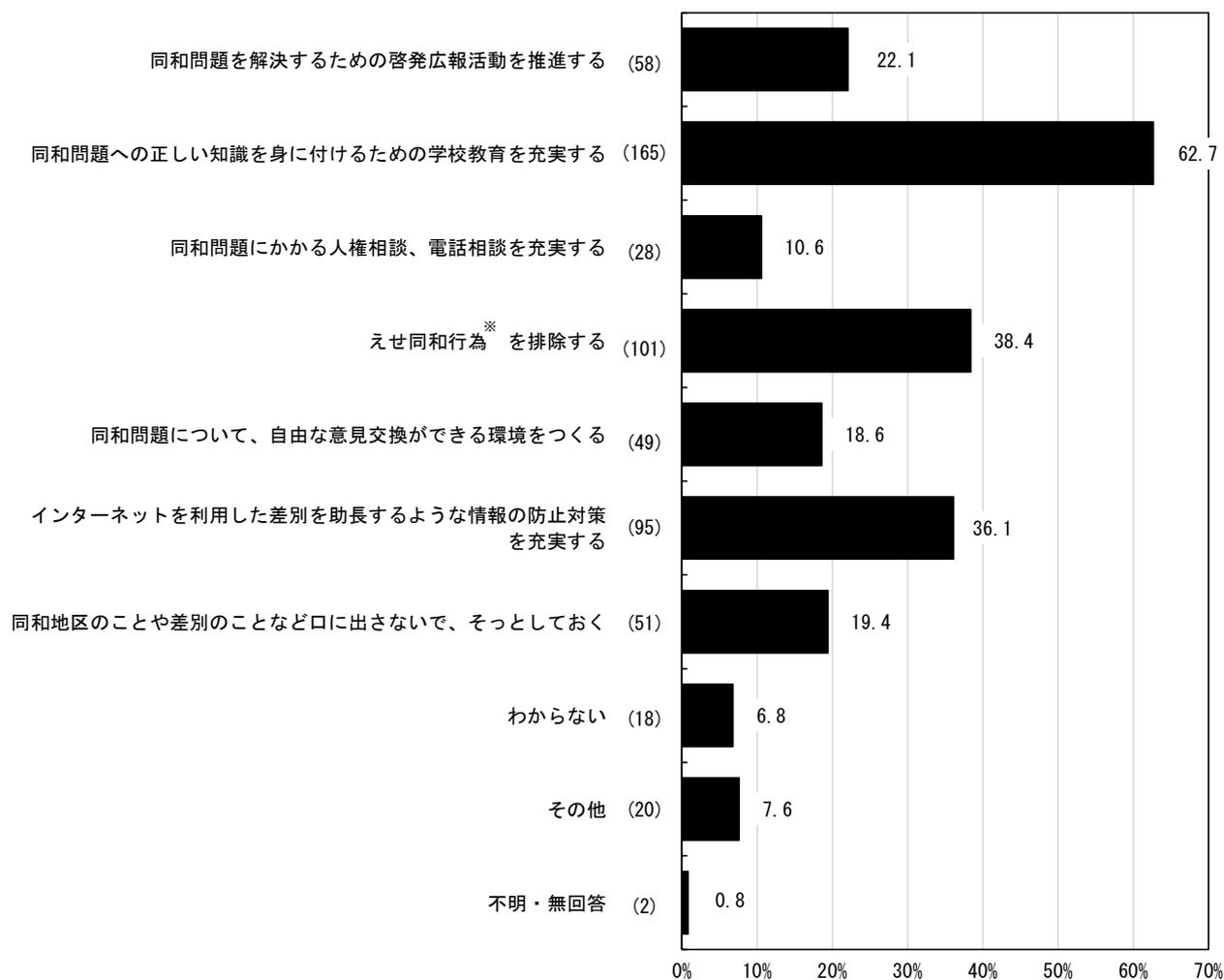
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	33.3%	34.8%	38.5%	29.8%	28.6%	33.9%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	38.9%	52.2%	42.3%	38.6%	37.5%	37.5%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	0.0%	4.3%	1.9%	7.0%	5.4%	5.4%
絶対に結婚しない	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	3.6%	1.8%
わからない	27.8%	4.3%	15.4%	21.1%	25.0%	16.1%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	5.4%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問29 あなたは、同和問題(部落差別)を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中から3つまでお選びください。

「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が62.7%と最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が38.4%、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が36.1%と続いている。

複数回答



■今回(n=263)

※えせ同和行為とは、同和問題を口実として行われる不法、不当な行為や要求。

※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高くなっている。

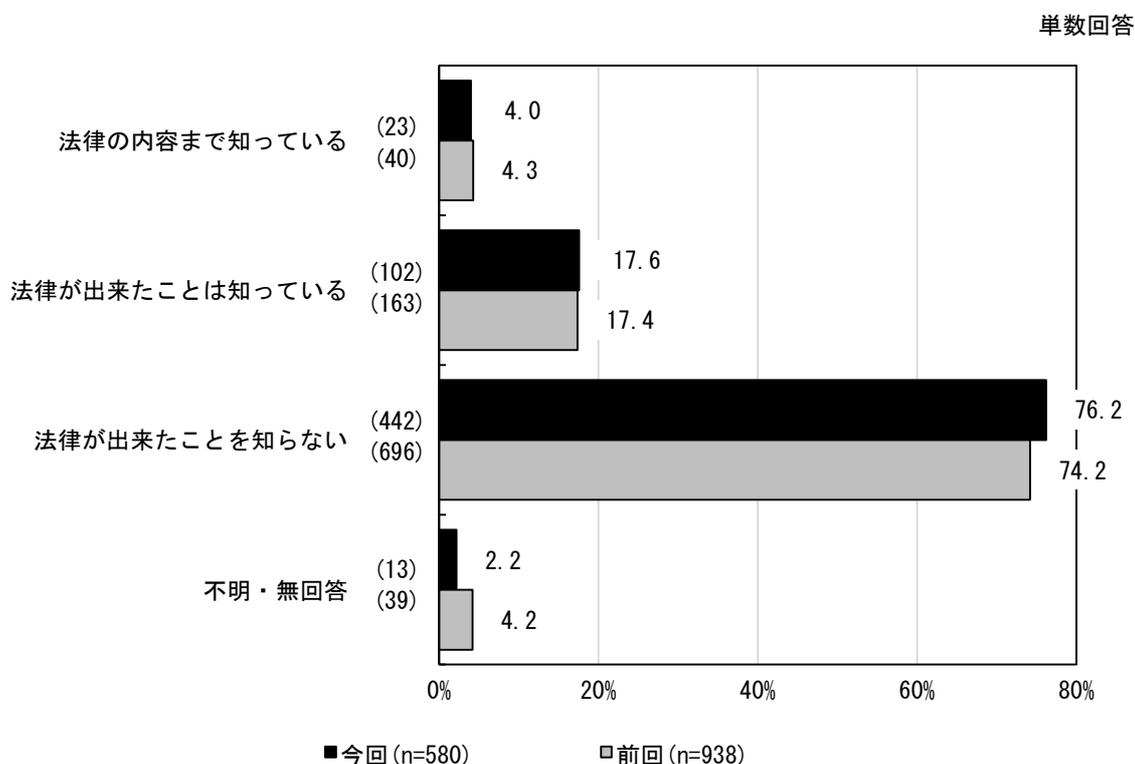
また、18～29 歳では「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が3割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	16.7%	8.7%	17.3%	21.1%	26.8%	30.4%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	61.1%	56.5%	61.5%	56.1%	75.0%	60.7%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	11.1%	17.4%	3.8%	5.3%	7.1%	23.2%
えせ同和行為を排除する	44.4%	30.4%	36.5%	29.8%	46.4%	42.9%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	16.7%	13.0%	11.5%	24.6%	12.5%	26.8%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	44.4%	43.5%	32.7%	33.3%	46.4%	26.8%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	33.3%	26.1%	23.1%	14.0%	12.5%	19.6%
わからない	5.6%	4.3%	13.5%	5.3%	5.4%	5.4%
その他	0.0%	30.4%	5.8%	10.5%	5.4%	1.8%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%

問 30 平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことを知らない」が76.2%と、「法律が出来たことは知っている」の17.6%、「法律の内容まで知っている」の4.0%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

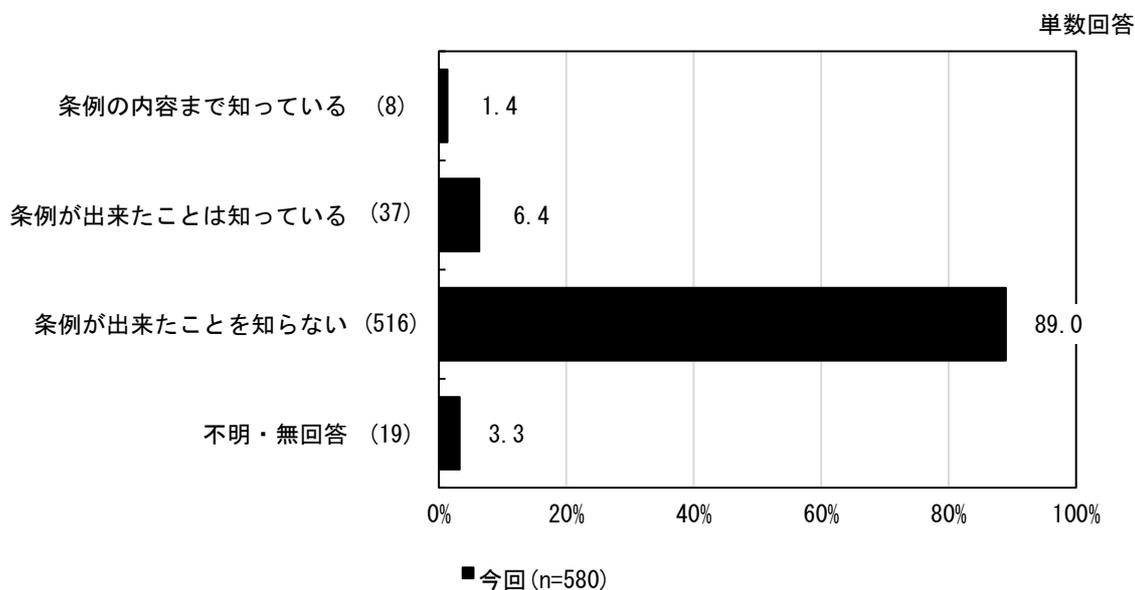
年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

また、すべての年代で「法律の内容まで知っている」は1割未満となっているが、18～29歳及び70歳以上では「法律が出来たことは知っている」が2割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	4.0%	7.5%	5.4%	3.4%	2.0%	3.0%
法律が出来たことは知っている	22.0%	9.0%	11.7%	15.4%	18.6%	25.8%
法律が出来たことを知らない	70.0%	82.1%	81.1%	80.3%	78.4%	66.7%
不明・無回答	4.0%	1.5%	1.8%	0.9%	1.0%	4.5%

問 31 令和4年7月に、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」が施行されました。あなたは、この条例をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「条例が出来たことを知らない」が89.0%と、「条例が出来たことは知っている」の6.4%、「条例の内容まで知っている」の1.4%と比べて高くなっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「条例が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
条例の内容まで知っている	4.0%	3.0%	0.9%	0.9%	1.0%	0.8%
条例が出来たことは知っている	10.0%	6.0%	4.5%	5.1%	2.9%	10.6%
条例が出来たことを知らない	84.0%	89.6%	92.8%	91.5%	92.2%	82.6%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	2.6%	3.9%	6.1%

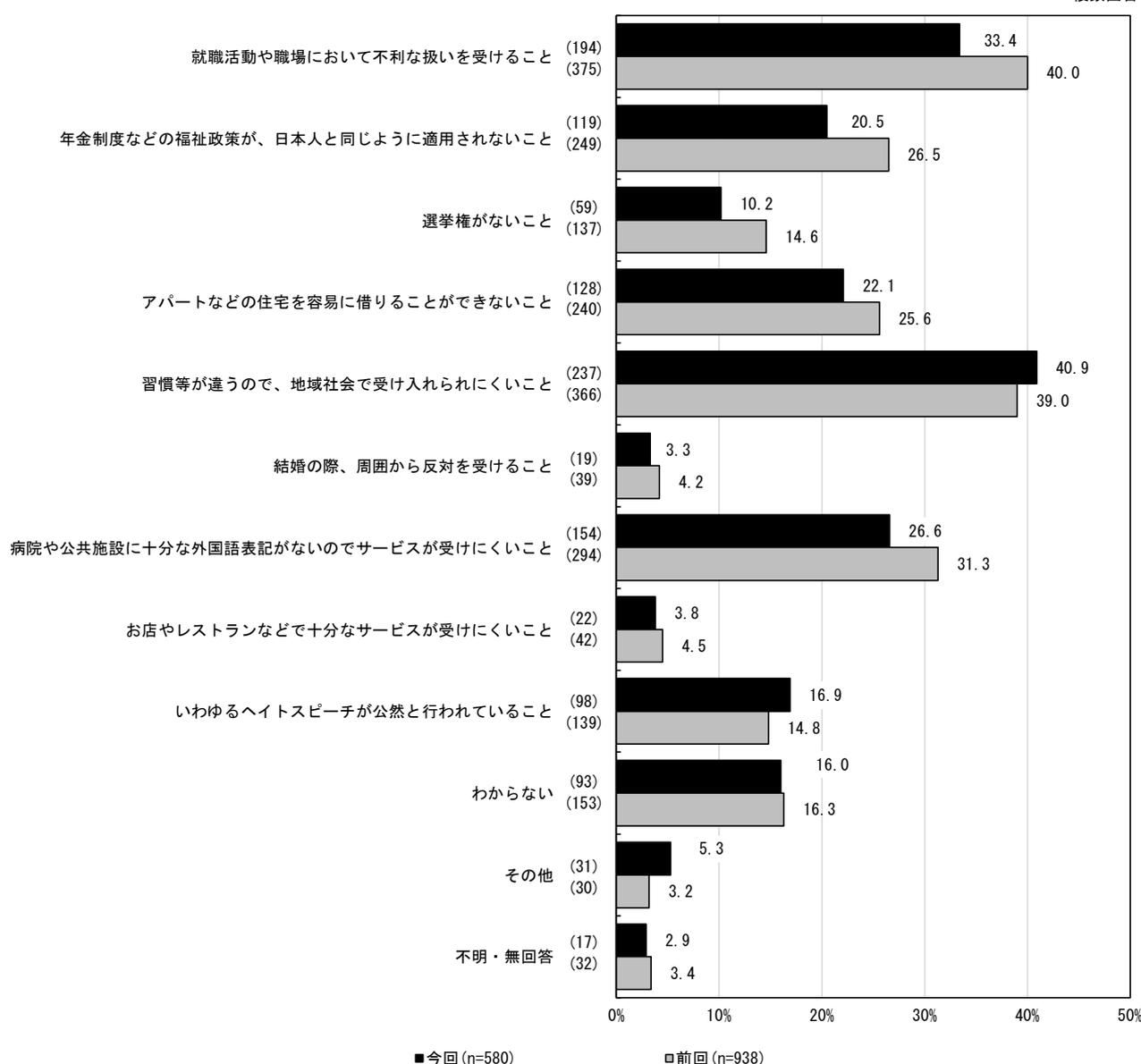
7. 外国人に関する人権について

問 32 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が40.9%と最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が33.4%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと」が26.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が6.6ポイント減少、「年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」が6.0ポイント減少となっている。

複数回答



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」及び「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」、30～39 歳及び 50 歳以上では「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」、40～49 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が最も高くなっている。

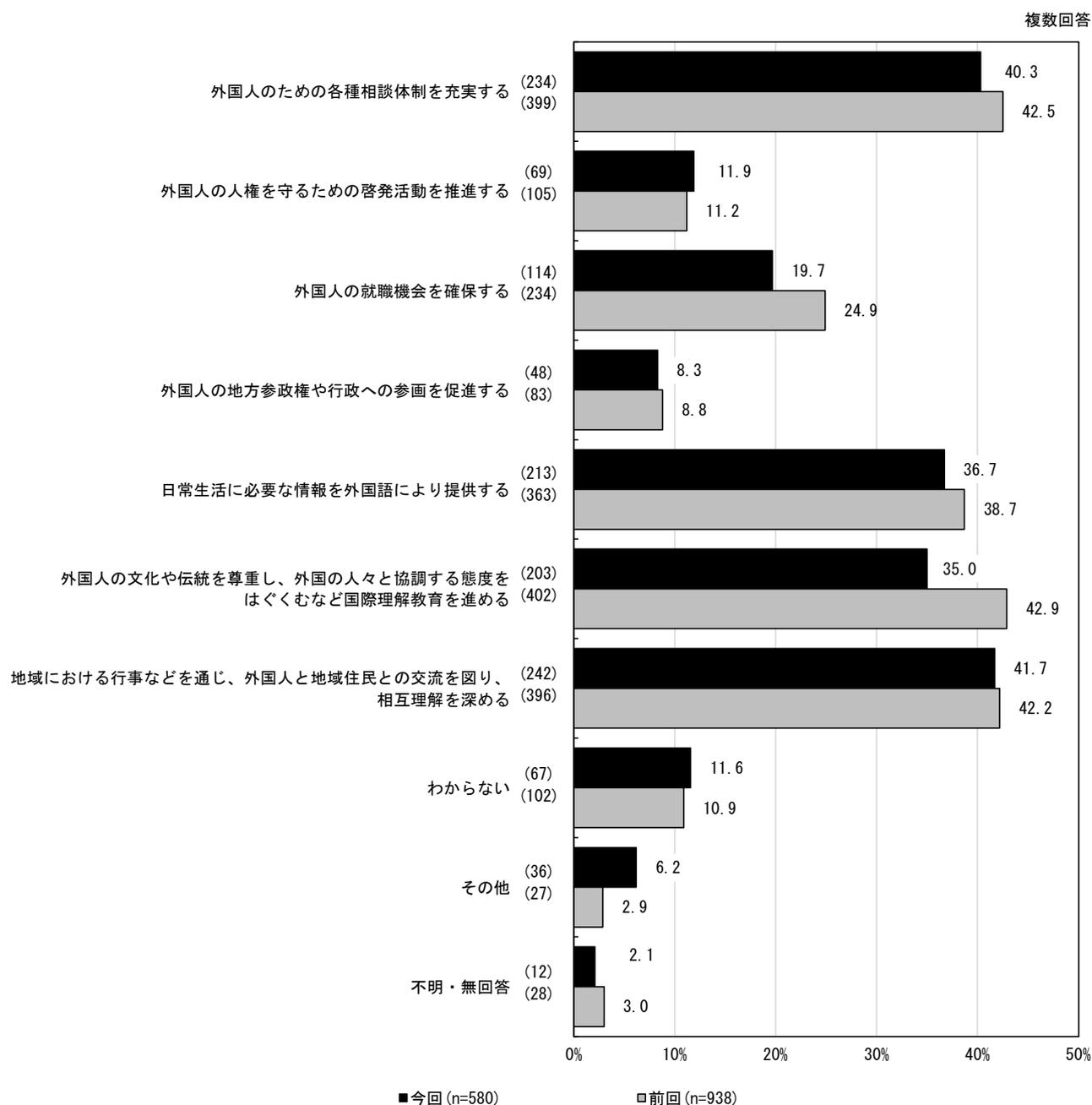
また、60～69 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が 4 割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70歳 以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	28.0%	29.9%	36.9%	28.2%	41.2%	32.6%
年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	14.0%	14.9%	17.1%	15.4%	26.5%	28.8%
選挙権がないこと	10.0%	4.5%	14.4%	8.5%	8.8%	12.1%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	24.0%	26.9%	20.7%	16.2%	18.6%	27.3%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	28.0%	40.3%	26.1%	47.9%	49.0%	46.2%
結婚の際、周囲から反対を受けること	10.0%	3.0%	3.6%	0.9%	1.0%	4.5%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと	16.0%	22.4%	25.2%	26.5%	34.3%	27.3%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	4.0%	4.5%	5.4%	2.6%	3.9%	3.0%
いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること	26.0%	22.4%	16.2%	16.2%	14.7%	13.6%
わからない	16.0%	13.4%	11.7%	17.1%	15.7%	20.5%
その他	6.0%	1.5%	11.7%	6.0%	2.9%	3.0%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	0.9%	4.9%	5.3%

問 33 あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が41.7%と最も高く、次いで「外国人のための各種相談体制を充実する」が40.3%、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が36.7%と続いている。

前回調査と比較すると、「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が7.9ポイント減少、「外国人の就職機会を確保する」が5.2ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29歳及び60～69歳では「外国人のための各種相談体制を充実する」、30～49歳及び70歳以上では「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」、50～59歳では「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が最も高くなっている。

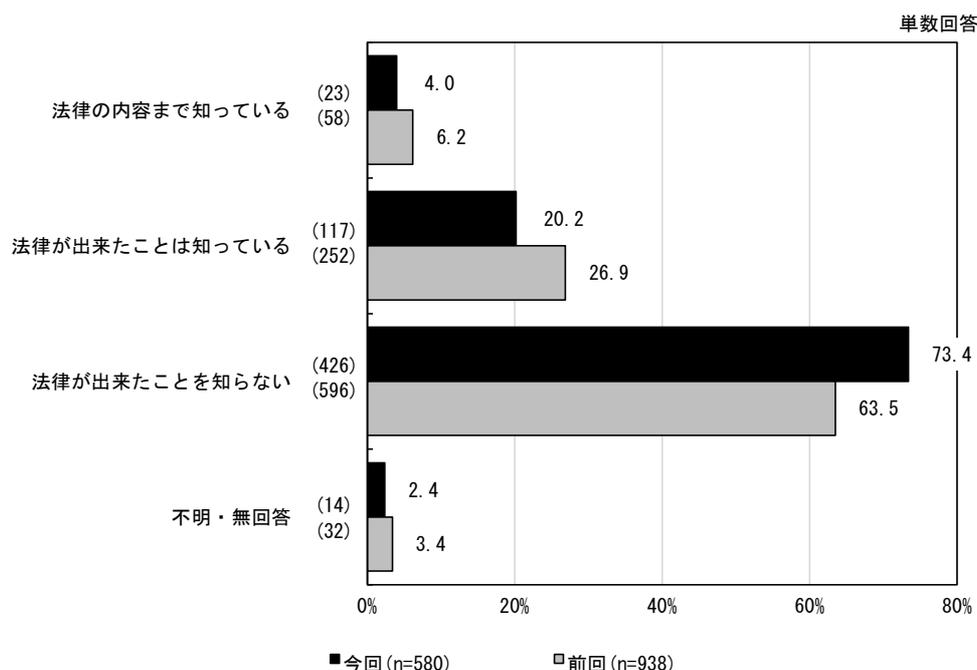
また、60～69歳では「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が4割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
外国人のための各種相談体制を充実する	42.0%	31.3%	34.2%	35.9%	47.1%	47.7%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	4.0%	7.5%	7.2%	9.4%	12.7%	22.7%
外国人の就職機会を確保する	24.0%	19.4%	20.7%	15.4%	21.6%	19.7%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	6.0%	4.5%	9.9%	8.5%	6.9%	10.6%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	22.0%	29.9%	28.8%	38.5%	43.1%	45.5%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	36.0%	32.8%	32.4%	35.0%	43.1%	31.8%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	34.0%	38.8%	36.9%	37.6%	41.2%	53.8%
わからない	10.0%	19.4%	10.8%	16.2%	6.9%	8.3%
その他	10.0%	4.5%	13.5%	6.8%	2.9%	1.5%
不明・無回答	4.0%	1.5%	0.9%	0.0%	2.0%	4.5%

問 34 平成28年6月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」(ヘイトスピーチ解消法)が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことは知らない」が73.4%と、「法律が出来たことは知っている」の20.2%、「法律の内容まで知っている」の4.0%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、「法律が出来たことを知らない」が9.9ポイント増加、「法律が出来たことは知っている」が6.7ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年齢で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

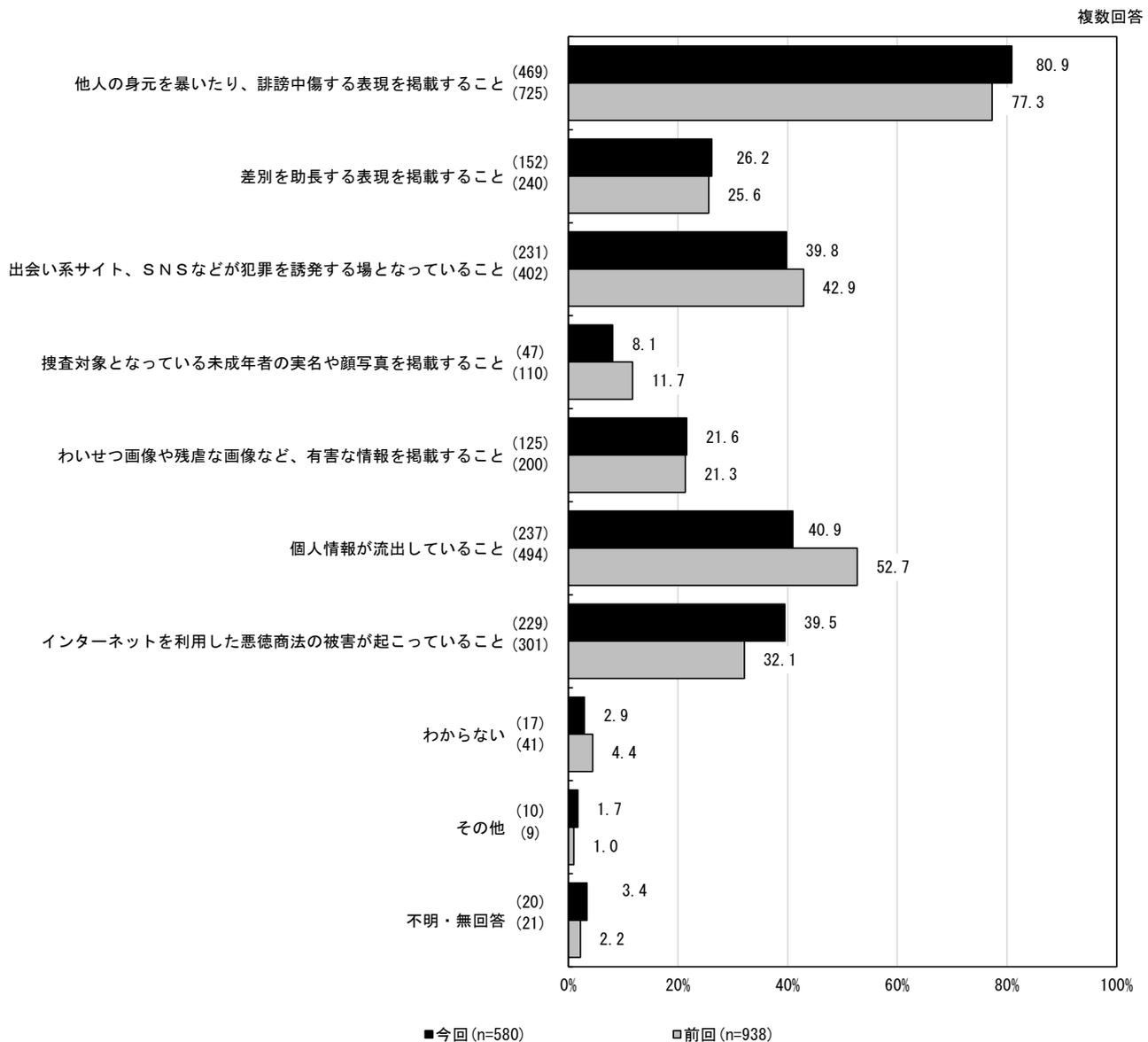
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	4.0%	4.5%	4.5%	5.1%	2.9%	3.0%
法律が出来たことは知っている	20.0%	13.4%	19.8%	21.4%	16.7%	25.0%
法律が出来たことを知らない	74.0%	80.6%	74.8%	73.5%	78.4%	65.2%
不明・無回答	2.0%	1.5%	0.9%	0.0%	2.0%	6.8%

8. インターネットによる人権侵害について

問 35 インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が80.9%と最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が40.9%、「出会い系サイト、SNSなどが犯罪を誘発する場となっていること」が39.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること」が7.4ポイント増加、「個人情報が流出していること」が11.8ポイント減少している。



【年齢別】

すべての年齢で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が最も高くなっている。

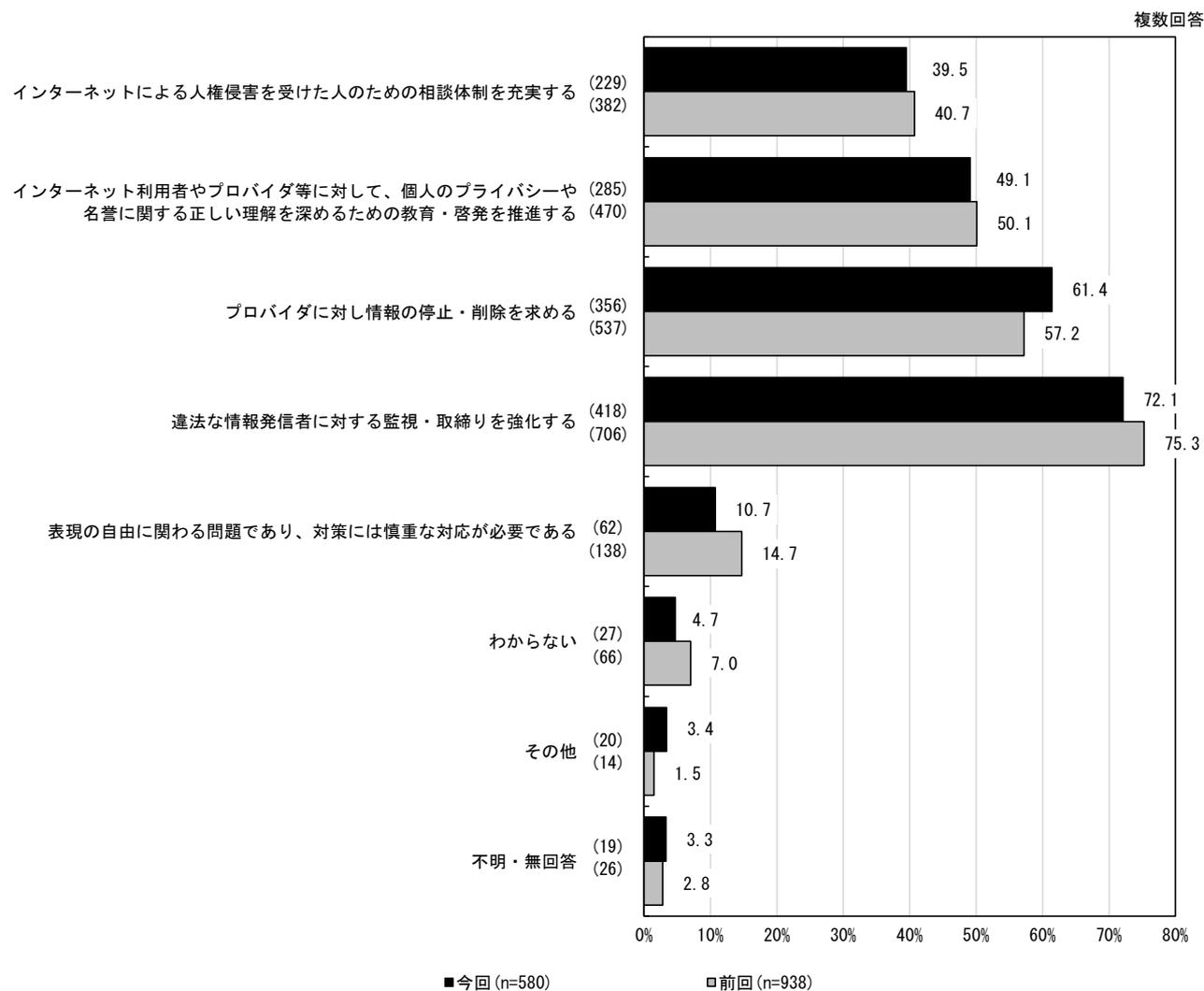
また、30～39歳では「個人情報が流出していること」が5割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	80.0%	82.1%	80.2%	82.1%	86.3%	75.8%
差別を助長する表現を掲載すること	32.0%	38.8%	27.9%	19.7%	28.4%	20.5%
出会い系サイト、SNSなどが犯罪を誘発する場となっていること	36.0%	25.4%	34.2%	43.6%	42.2%	47.7%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	8.0%	10.4%	9.9%	7.7%	6.9%	6.8%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	20.0%	22.4%	26.1%	19.7%	17.6%	22.0%
個人情報が流出していること	44.0%	52.2%	38.7%	43.6%	45.1%	30.3%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	30.0%	28.4%	41.4%	40.2%	43.1%	43.9%
わからない	2.0%	1.5%	0.9%	1.7%	3.9%	6.1%
その他	4.0%	3.0%	2.7%	2.6%	0.0%	0.0%
不明・無回答	2.0%	1.5%	2.7%	2.6%	2.9%	6.8%

問 36 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が72.1%と最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が61.4%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が49.1%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高くなっている。

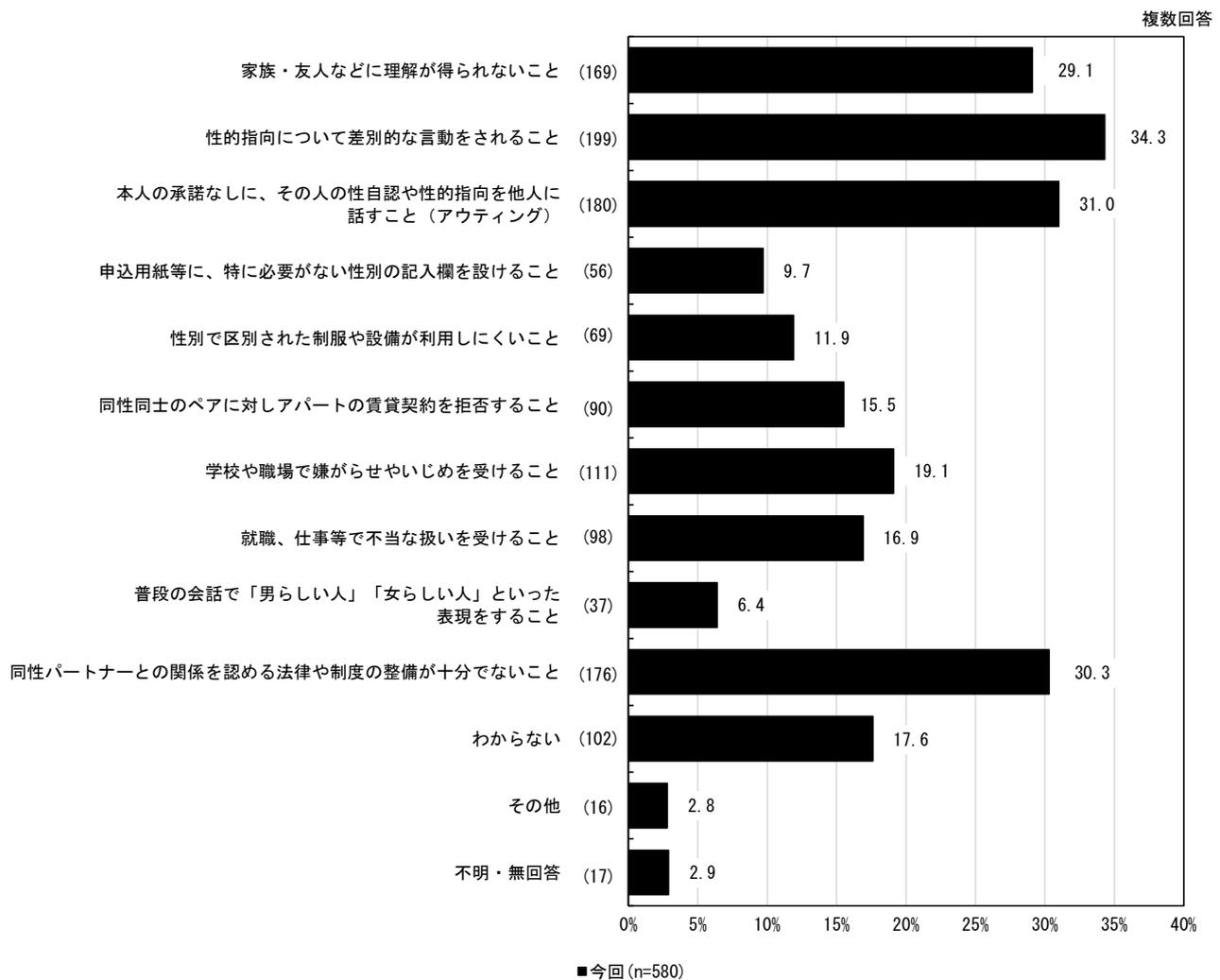
また、70歳以上では「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が5割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	42.0%	35.8%	35.1%	33.3%	34.3%	53.0%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	46.0%	49.3%	49.5%	48.7%	55.9%	45.5%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	48.0%	52.2%	57.7%	65.8%	69.6%	63.6%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	64.0%	74.6%	72.1%	76.1%	77.5%	65.9%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	18.0%	13.4%	10.8%	12.0%	5.9%	9.1%
わからない	2.0%	3.0%	5.4%	1.7%	2.9%	9.8%
その他	0.0%	7.5%	7.2%	3.4%	1.0%	1.5%
不明・無回答	0.0%	1.5%	3.6%	3.4%	2.9%	5.3%

9. 性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権について

問 37 性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権に関する事柄について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「性的指向について差別的な言動をされること」が34.3%と最も高く、次いで「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウトティング）」が31.0%、「同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと」が30.3%と続いている。



【年齢別】

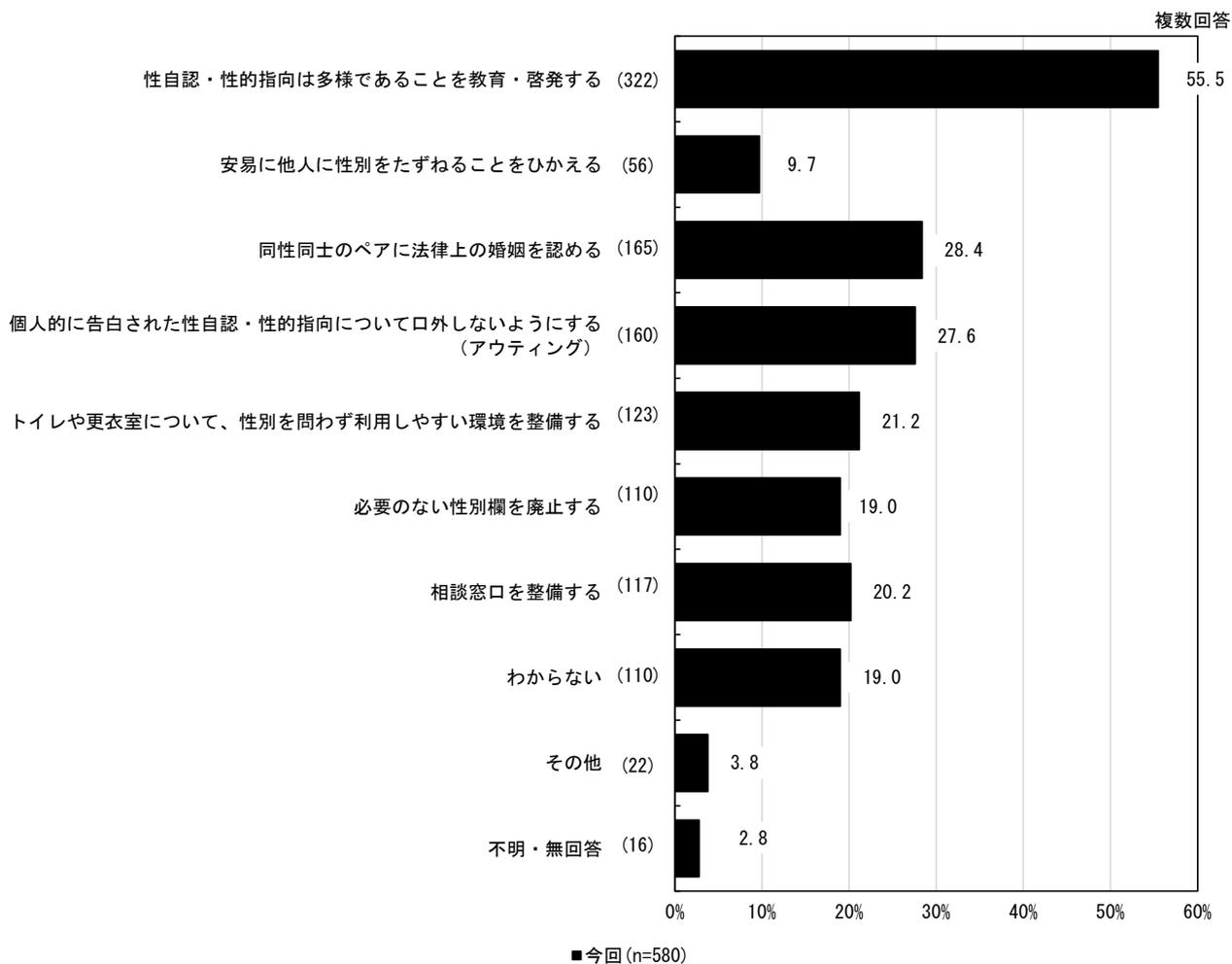
年齢別で見ると、18～39歳及び70歳以上では「性的指向について差別的な言動をされること」、40～49歳では「家族・友人などに理解が得られないこと」、50～59歳では「同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと」、60～69歳では「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）」が最も高くなっている。

また、18～29歳の「性的指向について差別的な言動をされること」及び、60～69歳の「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）」はそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
家族・友人などに理解が得られないこと	18.0%	19.4%	34.2%	32.5%	29.4%	31.1%
性的指向について差別的な言動をされること	44.0%	35.8%	31.5%	29.9%	35.3%	35.6%
本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）	32.0%	34.3%	29.7%	29.1%	43.1%	22.0%
申込用紙等に、特に必要がない性別の記入欄を設けること	6.0%	3.0%	15.3%	11.1%	7.8%	9.8%
性別で区別された制服や設備が利用しにくいこと	16.0%	13.4%	14.4%	12.8%	5.9%	11.4%
同性同士のペアに対しアパートの賃貸契約を拒否すること	26.0%	25.4%	13.5%	15.4%	13.7%	9.1%
学校や職場で嫌がらせやいじめを受けること	28.0%	23.9%	16.2%	17.1%	15.7%	20.5%
就職、仕事等で不当な扱いを受けること	18.0%	13.4%	17.1%	13.7%	21.6%	17.4%
普段の会話で「男らしい人」「女らしい人」といった表現をすること	8.0%	11.9%	5.4%	9.4%	2.9%	3.8%
同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと	38.0%	31.3%	27.9%	41.0%	25.5%	22.7%
わからない	8.0%	16.4%	12.6%	12.0%	23.5%	26.5%
その他	6.0%	1.5%	6.3%	1.7%	2.0%	0.8%
不明・無回答	0.0%	1.5%	1.8%	0.9%	2.0%	8.3%

問38 あなたは、性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権を守るためにはどのようなことが必要と思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する」が55.5%と最も高く、次いで「同性同士のペアに法律上の婚姻を認める」が28.4%、「個人的に告白された性自認・性的指向について口外しないようにする（アウティング）」が27.6%と続いている。



【年齢別】

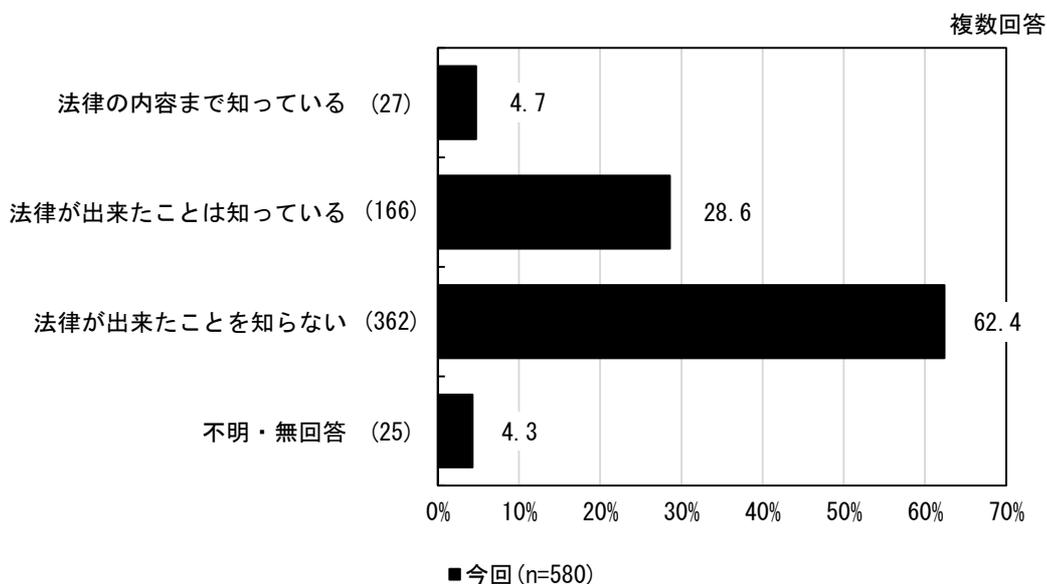
年齢別で見ると、すべての年代で「性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する」が最も高くなっている。

また、18～29歳では「同性同士のペアに法律上の婚姻を認める」が4割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する	64.0%	58.2%	51.4%	56.4%	64.7%	47.0%
安易に他人に性別をたずねることをひかえる	4.0%	9.0%	7.2%	8.5%	9.8%	15.2%
同性同士のペアに法律上の婚姻を認める	46.0%	29.9%	30.6%	29.9%	21.6%	22.7%
個人的に告白された性自認・性的指向について口外しないようにする（アウティング）	36.0%	29.9%	27.0%	26.5%	31.4%	21.2%
トイレや更衣室について、性別を問わず利用しやすい環境を整備する	12.0%	20.9%	20.7%	17.1%	25.5%	25.8%
必要のない性別欄を廃止する	12.0%	16.4%	27.9%	20.5%	18.6%	14.4%
相談窓口を整備する	26.0%	17.9%	18.0%	19.7%	19.6%	21.2%
わからない	8.0%	14.9%	14.4%	16.2%	19.6%	31.1%
その他	4.0%	9.0%	5.4%	5.1%	1.0%	0.8%
不明・無回答	2.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.0%	8.3%

問 39 令和5年6月に、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことを知らない」が62.4%と、「法律が出来たことは知っている」の28.6%、「法律の内容まで知っている」の4.7%と比べて高くなっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

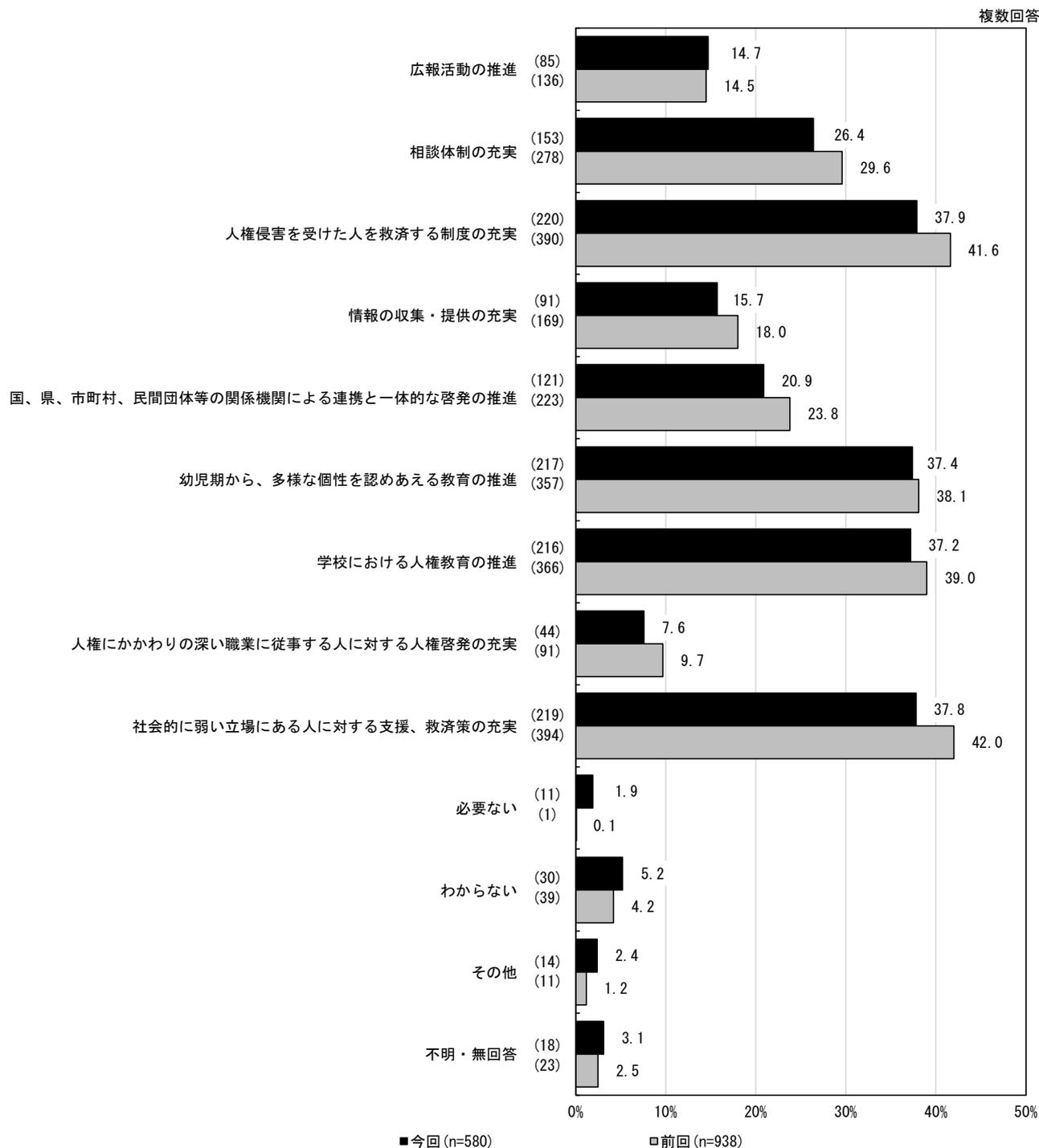
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	6.0%	9.0%	5.4%	6.0%	3.9%	0.8%
法律が出来たことは知っている	30.0%	22.4%	26.1%	28.2%	31.4%	31.1%
法律が出来たことを知らない	60.0%	67.2%	65.8%	63.2%	61.8%	58.3%
不明・無回答	4.0%	1.5%	2.7%	2.6%	2.9%	9.8%

10. 人権問題への取組について

問 40 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が37.9%と最も高く、次いで「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が37.8%、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が37.4%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～39歳及び50～59歳では「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」、40～49歳では「学校における人権教育の推進」、60歳以上では「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が最も高くなっている。

また、70歳以上では「広報活動の推進」が2割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
広報活動の推進	10.0%	7.5%	8.1%	12.8%	14.7%	27.3%
相談体制の充実	22.0%	26.9%	23.4%	25.6%	27.5%	30.3%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	30.0%	32.8%	34.2%	35.0%	47.1%	41.7%
情報の収集・提供の充実	24.0%	23.9%	17.1%	13.7%	14.7%	9.8%
国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	16.0%	16.4%	14.4%	21.4%	23.5%	27.3%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	50.0%	52.2%	32.4%	43.6%	35.3%	25.8%
学校における人権教育の推進	36.0%	32.8%	42.3%	40.2%	43.1%	28.0%
人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実	4.0%	11.9%	7.2%	6.0%	7.8%	8.3%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	34.0%	32.8%	36.0%	37.6%	42.2%	40.2%
必要ない	0.0%	1.5%	2.7%	1.7%	2.0%	2.3%
わからない	4.0%	9.0%	5.4%	3.4%	2.9%	6.8%
その他	2.0%	0.0%	4.5%	4.3%	2.0%	0.8%
不明・無回答	4.0%	1.5%	2.7%	1.7%	2.9%	5.3%